



事業者：帯広地方卸売市場株式会社

計画概要

冷凍野菜の需要が増加する中、地域内での冷蔵・冷凍施設の不足や、野菜の貯蔵委託先の分散による流通管理の複雑化が課題となっている。このため、冷蔵・冷凍貯蔵に対応した集出荷施設を整備し、野菜処理量の増加や卸売市場としての機能強化を図るとともに、物流の効率化・省力化を進め、安定的な供給・流通体制の構築を目指す。

目標

令和12年12月までに

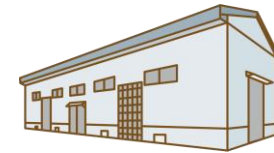
- ①野菜（スイートコーン、枝豆、長芋、南瓜、ごぼう、アスパラガス）の処理量を364.5トンから7,457トンに増加。
- ②冷蔵・冷凍貯蔵能力を300トンから5,906.83トンに拡充。

食料システムへの寄与

施設整備により、各品目の増産計画への対応が可能となるほか、需要期及び端境期においても計画的な出荷及び供給が行えるようになり、十勝産野菜の生産・出荷量の向上並びに冷凍野菜ニーズへの対応力が高まる。

その結果、供給の安定性向上及び物流コストの抑制を通じて、一般消費者に対し安定した価格及び数量での供給が可能となる。

計画のイメージ



集出荷施設の整備



処理量を

364.5トンから**7,457トンに増加!**



冷蔵・冷凍施設を

300トンから**5,906.83トンに拡充!**

(2026年3月13日認定)